



宮城県多賀城高等学校

SS科学部マツ班

宮城県多賀城市笠神二丁目17番1号

宮城県多賀城高校Bursa.バスターズ ～多賀城高校の松枯れの原因を探るPartIV～



アカマツ林の土壌成分の分析

Action

私たちは宮城県多賀城高校SS科学部マツ班は、学校の緑化環境の保全のための活動を展開しています。学校の敷地内北斜面には92本のアカマツが植樹されていましたが、近年枯死体が目立つようになりました。そこで、この状況を危惧した科学部のメンバーが2016年から継続して松枯れに関する調査・研究を行ってきました。

一般に、『松枯れ』はマツノザイセンチュウ（*Bursaphelenchus xylophilus*）が寄生することで起こるマツ材線虫病が原因であると言われています。そこで、本校における松枯れの原因究明のため、アカマツの健康調査及びマツノザイセンチュウの検出を行うとともに、2018年からはマツノザイセンチュウ病以外に健康被害をもたらす要因についても多面的な視点で調査を行っています。以上の取り組みは、レポートにまとめて学校に報告する他、ポスターやパワーポイントにまとめて、各種環境イベントや研究発表大会の場において広く発表しています。